

第13回

裁判員等経験者の皆様と意見交換会を行いました



裁判員等経験者の意見交換会

開催日：令和6年3月7日(木)

場所：那覇地方裁判所

参加者：裁判員等経験者7名

裁判官2名 検察官1名 弁護士1名



Q 裁判員裁判に参加しての全般的な感想・印象

- ・人生でなかなかこういう機会がないので、気軽に参加したが、実際やってみて、自分が法律に素人であるにも関わらず、被告人の人生に関わることに對して、責任があると感じた。(20代)
- ・裁判員制度について勉強して参加したが、実際に体感してみて、被告人、被害者のことを真剣に考えたことなどが有意義であり、貴重な体験であった。(20代)
- ・年齢に関係なく、こういう経験をするのは大事だと感じた。(70代)

Q 裁判員等の負担軽減のために検討してほしいこと等

- ・選任手続が金曜日で、翌週月曜日から審理が始まるスケジュールだったが、選任後、すぐ翌週から1週間会社を休む必要があり大変であった。もう少し選任から審理まで日数がほしかった。(20代)
- ・選任手続の日と同日から審理が始まるスケジュールで、その日に抽選に当たるのかが不明の中、旅行等を変更せざるを得ないため、配慮してほしい(40代、60代)
- ・当時は大学生であったが、評議が終わって帰りの車の中で精神的な疲れもあった。メンタルケアをより充実させてほしい。(20代)

Q これから裁判員となられる若年層の方へのメッセージ

- ・報道等で情報は多くあるが、まず、体験してみることで考え方が変わるのでぜひ参加してほしい。(70代)
- ・お金払ってもできない経験であり、長い人生の糧にしてほしい。(60代)
- ・精神的、身体的負担はあるものの、年代や生活環境が異なる方と意見交換することができ、自分の考えの幅が広がる。(40代)
- ・人の人生を左右することに対しての合意形成に参加することができるのは非常に貴重である。(20代)
- ・私自身、多く発言することができたが、今後参加する若年層もわからないことを安心して質問しやすい雰囲気を作り続けてほしい。(20代)

Q 裁判手続、審理、評議及び判決宣告の各手続に関する感想・意見

- ・専門用語が少なく、分かりやすく説明していただき、素人でも理解することができた。審理の日程等のスケジュール調整がされていたので、理解しやすいと感じた。(40代)
- ・素朴な疑問が出てくるが多かったが、評議を通じて、納得することができた。(60代)
- ・事件関係者が多かったので、最初は理解に苦しんだが、日が経つにつれて、理解することができた。(40代)
- ・事件に至った経緯を、深く知っていくなかで、なぜ事件を起こしたのか、被告人の周り(地域)の協力がなぜなかったのかを深く考えさせられた。(70代)
- ・犯罪の定義についての議論が非常に難しく、議論の中でたどりついた判決であった。量刑が平等でなければならないという点や“疑わしきは罰せず”を念頭に充実した評議の時間であった(20代)
- ・被告人が目の前にいるのは、資料だけ見ていた時とは全く異なる感覚であった。(20代)
- ・裁判官がみんなの意見を引き出してくれ、被告人だけではなく、その家族のことも考えることができた。(20代)
- ・特定少年の事件であったが、検察官が被告人に配慮した呼び方をしていたことが印象に残っている。評議で自分の意見を述べることで、良い判決を出すことができた。(40代)